



● 巻頭インタビュー

インドネシア人看護師候補者 in山元町



リタ レトナニンティアスさん (左)
ヤントリさん (右)
インドネシア共和国出身
独立行政法人国立病院機構宮城病院勤務
インドネシア人看護師候補者(※1)

MIA さっそくですが、出身地をおしえてください。

リタ わたしは中部ジャワ州の州都スマラン(※2)です。

ヤン わたしもジャワ島ですが、西部のチルボン(※3)出身です。

MIA インドネシアでも看護師をされていたのですか？

リタ はい、13年やっていました。

ヤン わたしは4年ほどです。

MIA 山元町の宮城病院に来るまでのことをおしえてください。

リタ インドネシアの選考試験では筆記試験、面接、それから健康診断がありました。約1,000人の応募者の中から160人が選抜されたと聞いています。

ヤン 試験に合格してから、来日するまで4ヵ月間、毎日朝8時から夜9時まで日本語の研修漬けでした。

リタ 2009年11月に来日しましたが、また日本語の勉強、朝8時から夜9時まで(笑)場所は箱根でした。

ヤン その日本語研修が2ヵ月あって、2010年1月16日から山元町の宮城病院に赴任しました。

MIA 宮城病院ではどんな仕事をしていますか？

リタ わたしは主に神経難病病棟の担当です。といっても、わたしたちは日本の看護師の資格を持っていませんので、補助的な仕事を中心です。来たばかりのときは環境整備、給食の配膳、片付けなどをしていました。

ヤン わたしは難病患者の病棟がメインです。患者さんの体を拭いたり、おむつ交換などを行っています。

MIA 日本の病院で驚いたことはありますか？

ヤン お風呂！インドネシアの病院は体を拭くだけで、お風呂はありません。

リタ 入院期間が長いのも驚きました。インドネシアではせいぜい1ヵ月ぐらいしか入院しません。

ヤン ALS(筋萎縮性側索硬化症)の方がコンピューターを使ってコミュニケーションができるといった技術にはさすが日本と思いました。

リタ あとはゴミの分別ですね。インドネシアでも院内感染対策でゴミの分別処理はしていますが、それ以外の瓶、缶、紙、プラスチックなどの分別はまだまだです。来たばかりのころ、使用済みのビニール手袋を適当にゴミ箱に捨てようとしたら、日本人のスタッフに注意されました(笑)。

ヤン インドネシアの患者さんは看護師にわりと依存的というか、こちらもすぐに手助けしてしまうのですが、日本の患者さんは自立的ですね。苦しそうに歩いている患者さんに手を貸そうとしたら、先輩の看護師に止められました。でも、とてもいいことだと思いました。

MIA 困っていることはありますか？

リタ やはり言葉の問題はあります。先輩の言葉が分からず、何度も繰り返しもらい、申し訳ないと思うことがあります。



ヤン わたしはイスラム教徒なのでスカーフをかぶっていますが、患者さんに「どうしたの？具合悪いの？」などと訊かれることがありますが、日本語でうまく説明できず困りますね。

リタ あとはお祈りですね。イスラム教徒は1日に5回お祈りをします。病院の方にお祈りの場所を用意してもらったのですが、ちょっと遠くて不便です。それと、特に経典上の決まりなどではないのですが、やはり周囲に人がいると好奇の目を向けられたりするので難しいですね。

ヤン 食べ物もハラルフード(※4)をインターネット通販で取り寄せて、3食自炊しています。

MIA ところで、日本の食べ物では何が好きですか？

二人 牛丼！

リタ あいし、あれはおいしいです。

MIA えー、意外ですね、インドネシアの方が牛丼？

ヤン そのほかですと、おすしも大好きですし、日本の果物はおいしいものが多いですね。桃、柿は日本で初めて食べましたが最高です。

リタ さくらんぼ、いちじくもおいしい。あとは、地元のいちご。病院の方にもたくさんいただきました。

ヤン 納豆だけは…あれは臭くてダメです。

MIA 日本人の印象はいかがですか？

ヤン 仕事をするとき、とても真面目ですね。仕事をするために生きているのではと思うことがあります。

リタ 病院内には外部からの業者の方々が多く働いていますが、その方々もとても熱心でびっくりしています。

ヤン それから、公私の区別をみなさんしっかりしていますね。

リタ そうそう。インドネシアだとあまり気にしないで何でも話し、何でも聞いちゃいます。女性に体重を聞いても別に失礼じゃないです。でも、日本はそうはいかないですね。結婚しているのかどうかもなかなか聞けないのでその辺がちょっと窮屈に感じることがあります。

ヤン でも、病院のスタッフはみんないい人たちです。わたしたちの住んでいるところはあまり交通の便がよいところではないので、休日は気遣ってくれてあちこちに連れて行っていただいています。

リタ 丹野看護師長はわたしたちの第2のお母さんです。一緒に来た他のインドネシア人看護師候補者の中には、環境になじめず、日本人の同僚たちとうまくいっていないケースもあるようです。そういう意味ではわたしたちは人間関係にも恵まれ、たいへんありがたく思っています。

※1：平成19年8月に日本、インドネシア両国首脳によって署名され、その後国会の審議を経て、平成20年8月1日に発行した日・インドネシア経済連携協定の中に看護師・介護士の労働者を受け入れる項目があり、それに基づき厚生労働省が平成20年から受け入れを実施しています。在留期間の上限は3年と定められており、その間に看護師国家試験に合格しなければ帰国しなければなりません。

※2：人口139万(2003年)で、ジャカルタ、スラバヤ、メダン、バンドンとともにインドネシア五大都市と称されています。

※3：西ジャワ州の都市で人口は約23万人。

※4：イスラム法上で食べられる物のこと。

このコーナーでは、県内の国際活動団体の2011年2月～3月の活動予定をご紹介します。

MIAイベントカレンダー

2011	2	S	M	T	W	T	F	S	3	S	M	T	W	T	F	S
	2			1	2	3	4	5				1	2	3	4	5
	6	7	8	9	10	11	12		6	7	8	9	10	11	12	
	13	14	15	16	17	18	19		13	14	15	16	17	18	19	
	20	21	22	23	24	25	26		20	21	22	23	24	25	26	
	27	28							27	28	29	30	31			

※●はイベント開催予定日です。詳しい内容については以下でご確認ください。

アイコンの見方



主催



会場



時間



申し込み



参加費



電話番号



FAX番号



メールアドレス

2月 FEBRUARY

2・3月 毎週土・祝日

瑞巖寺ボランティアガイド

● 松島善意通訳者の会

● 瑞巖寺

● 10:00～15:00

● 不要

● 無料

http://www.geocities.jp/matsushimagw/

2・3月 毎週金曜日

国際語エスペラント講座 塩釜教室

● 仙台エスペラント会

● 塩釜市港町2-3-11 ビルドスペース

● 12:30～13:30

● 電話・FAX・Eメール

● 初回無料、継続はテキスト代等要

● 080-3198-4818(ビルドスペース)

● FAX 022-389-1620

● mspero@esperanto.hope.cx

http://www.birdoflugas.com

6日

オックスフォード児童英語教師向けワークショップシリーズ2011

● オックスフォード大学出版局

● 仙台サンプラザ1Fロース

● 10:00～15:00

● 2月3日締め切り

● 無料

● 03-5444-5454

http://www.oupjapan.co.jp/kidsclub/otws2011/index_jp.shtml

地球のステージ 番外篇

● 地球のステージ 仙台グループ

● 名取市文化会館 中ホール

● 13:30～15:30

● 要事前申込 電話・FAX・Eメール

● 1,000円

● 090-7339-5068

● FAX 022-246-1520

● e-igarashi@giga.ocn.ne.jp

http://www.e-stageone.org

11日・12日

CCEチャリティバザー

● 地球の子ども通信(CCE)

● 地球の子ども通信事務局

● 10:00～15:00

● FAX 022-376-5382

13日

名取の国際化を考える県民フォーラム

● 宮城県、JICA、財団法人宮城県国際交流協会

● 名取市文化会館 中ホール

● 13:00～16:00

● 電話・FAX・Eメール

● 無料

● 022-275-3796

FAX 022-272-5063

● mia@k2.dion.ne.jp

http://www.h5.dion.ne.jp/~mia/

TUMCAの料理教室

● TUMCA

● 仙台国際センター 交流コーナー 研修室B

● 10:00～14:00

● 電話・Eメール

● 600円

● 090-2846-3654

● cooking_class@tumcaweb.com

www.tumcaweb.com

カトリック教会スペイン語ミサ及びお茶会

● 東北ラテンアメリカ教会

● 元寺小路教会

● 毎月第2日曜日 14:00～15:00(ミサ)

● 15:00～(お茶会)

● 当日自由にお越しください。

● 無料

● 022(222)5507

● FAX 022(222)5535

● mototera@st.cat-v.ne.jp

http://st.cat-v.ne.jp/catholic-sendai/

mototerakoji.html

16日

申請取次行政書士による外国人のための入管手續無料相談会

● 宮城県行政書士会

● 仙台市青葉区役所4階 市民相談室

● 13:00～16:00

● 電話受付又は予約なしでも受付OK

● 無料

● 022-261-6768

● FAX 022-276-2258

17日

ケニアの養豚事情

● アフリカ・セミナーの会

● 仙台国際センター 研修室

● 10:00～12:00

● 不要

● 700円

● FAX 022-362-7907

18日

日本語教師必見!

日本語の凡人社 教材活用セミナー

● 財団法人 東北多文化アカデミー

● 青葉区大手町6-1-1F

● 東北多文化アカデミーにて

● 13:00～16:00

● 事前のお申し込みは不要です。

● 当日直接会場までお越しください。

● 多文化倶楽部会員は無料、一般300円にて(多文化倶楽部会員は1割引で凡人社書籍が購入できます)

● 022-398-5127

● FAX 022-398-5128

● http://www.tohoku-tabunka.org/

19日

2010国際理解ワークショップin石巻～お菓子の向こう側～

● 地域・国際貢献サークル フォーラム、

JICA東北

● 石巻市役所5F 市民活動ルーム

● 13:30～16:30

● フォーラム事務局またはJICA宮城デスク佐藤

● 無料

● 090-2983-7739(鈴木)、

022-275-5540(JICA宮城デスク佐藤)

● FAX 022-272-5063(JICA宮城デスク佐藤)

● ms03@jp.bigplanet.com(鈴木)

● jicadpd-desk-miyagiken@jica.go.jp(佐藤)

20日

ひなまつり交流会

● 日本伝統文化の会、(財)仙台国際交流協会

● 仙台国際センター1階 交流コーナー、

研修室A・B、和室

● 12:00～15:00

● 前売券200円/当日券300円

● 022-265-2480

26日

国際理解教育シンポジウム

● 宮城県国際理解教育研究会

● ホテルサンルート仙台

● 14:00～17:00

● 事務局(仙台市立中田小学校教諭高橋哲哉まで)

● 無料

● 022-241-2610(中田小)

● FAX 022-241-3969

平成22年度仙台市災害時言語

ボランティア公開研修会

● (財)仙台国際交流協会、仙台市

● 仙台国際センター3階 中会議室「白樺」

● 13:30～16:00

● 電話・FAX・Eメール

● 022-265-2480

● FAX 022-265-2485

● a-kikuchi@sira.or.jp

27日

「栗原市国際交流フェスティバル」シンポジウム・おにぎり交流パーティ

● 栗原市国際交流協会

● 栗原市若柳「ドリームパル」

● 10:00～14:00

● 2/22まで

● 200円(予定)

● 0228-32-6789

● FAX 0228-32-2113

● info@yumenet-kawashima.com

http://www.yumenet-kawashima.com

多文化カフェ

● 財団法人 東北多文化アカデミー

● 青葉区大手町6-1-1F

● 東北多文化アカデミーにて

● 13:00～16:00

お知らせ

倶楽部MIAの最新号およびバックナンバーはMIAのHPでもご覧いただくことができます。
URL:<http://www.h5.dion.ne.jp/~mia/publication/publication.html#clubmia>

事前のお申し込みは不要です。
当日直接会場までお越しください。
無料
022-398-5127
FAX 022-398-5128
<http://www.tohoku-tabunka.org/>

3月 MARCH

5日

第10回いわぬま日本語スピーチコンテスト

主催:岩沼市民交流協会、
主管:日本語講座いわぬまアイビー
岩沼市市民会館中ホール
13:00~16:30(開場12:30)
無料
0223-22-1111
内)643(岩沼市総務部さわか市政推進課)
FAX 0223-22-2143
<http://www.city.iwanuma.miyagi.jp/>

11日

MIA外国籍の子どもサポーター

登録前・スキルアップ研修会
財団法人宮城県国際交流協会
宮城県国際交流協会 研修室

13:30~16:00
電話・FAX・Eメール
無料
022-275-3796
FAX 022-272-5063
mia@k2.dion.ne.jp
<http://www.h5.dion.ne.jp/~mia/>

13日

カトリック教会スペイン語ミサ及びお茶会

東北ラテンアメリカ教会
13:00~16:00 ※2月13日に同じ

16日

申請取次行政書士による外国人のための入管 手続無料相談会

宮城県行政書士会
13:00~16:00 ※2月16日に同じ

17日

アフリカの宗教を考える

アフリカ・セミナーの会
仙台国際センター 研修室
10:00~12:00
不要
700円
FAX 022-362-7907

26日

クラブ・かたりすと 理科教室〜親子で“ダッチ・ザ・DNA”

Pluto
岩沼市中央公民館会議室
13:30~15:30
10組のみ、3月11日まで、保護者同伴、小
学生以上、筆記用具持参
1,600円(一組2人)
FAX 0224-55-5729
(氏名・住所・連絡先を明記、FAX申込みのみ)

27日

多文化カフェ

財団法人 東北多文化アカデミー
青葉区大手町6-1-1F
東北多文化アカデミーにて
13:00~16:00
事前のお申し込みは不要です。
当日直接会場までお越しください。
無料
022-398-5127
FAX 022-398-5128
<http://www.tohoku-tabunka.org/>



JICA宮城デスクからのお知らせ

※JICA=独立行政法人国際協力機構(開発途上国に対する総合的な二国間援助機関で、技術協力・有償資金協力・無償資金協力を行っています。)

参加者募集「2010国際理解ワークショップin石巻 〜お菓子の向こう側〜」開催のお知らせ!

甘くて、美味しくって、かわいくって…。疲れた時、悲しい時、寂しい時、
そしてうれしい時、欲しくなるんですよ。いつも、私たちに小さな喜び
や楽しさを与えてくれるお菓子。そのお菓子の中身から、その後ろにある、
あまり知られていない世界を一緒にのぞいてみましょうか?
※ワークショップの中でお茶を提供します。マイカップ持参のご協力を
願います。

- 日時: 2011年2月19日(土) 13:30-16:30
- 会場: 石巻市役所(新庁舎)5階市民活動ルーム
(宮城県石巻市穀町14-1)
- 事前予約の有無: 有
- 参加費の有無: 無
- 問い合わせ先: JICA宮城デスク 佐藤

問い合わせ先: TEL.022-275-5540 E-mail jicadpd-desk-miyagiken@jica.go.jp JICA東北ホームページ <http://www.jica.go.jp/tohoku>

「MIA外国籍の子どもサポーター」登録前・スキルアップ研修会 参加者募集



県内各地の学校で外国籍の子どもたちが学ば姿が見られるようになって
きましたが、MIAでは、こうした外国籍の子どもたちに対して、日本語学
習や教科学習、また通訳・翻訳の支援を行う「外国籍の子どもサポーター」
の派遣を行っています。

この研修会は、サポーターとしての登録を希望される方々や既登録者
を対象として実施するもので、サポーターの活動内容や、活動を始めるに
あたりの基礎的な知識について理解を深めていただくことを目的とし
ています。

- 主催: 宮城県国際交流協会(MIA)
- 日時: 2011年3月11日(金) 13:30~16:00
場所: 宮城県国際交流協会研修室
(仙台市青葉区堤通雨宮町4-17 宮城県仙台合同庁舎7階)
- 内容(予定): 「外国籍の子どもサポーター」派遣制度についての説明
・サポート活動経験者からの報告
・子ども向け教材等の活用法についての講義
- 登録資格: 県内在住の20歳以上の方で、通訳可能な語学力のある方

お問合せ・お申込み: 宮城県国際交流協会 TEL: 022-275-3796 FAX: 022-272-5063 E-mail: mia@k2.dion.ne.jp

多文化 な トピック

宮城に住む外国人

わたしたちの宮城県にはどれくらいの外国人が住んでいるかご存知ですか?外国人は日本に在住する際、市区町村への外国人登録が義務付けら
れており(旅行などの短期滞在は除く)、その統計データで実態を知ることができます。これによれば平成21年末現在で16,500人(宮城県の人口の
約0.7%)です。ここ数年は16,000人台をキープしていて、目立った増減はありません。

ちなみに、全国では218万人余り、日本の人口の約1.7%にあたります。地域別では、仙台市が約1万人と圧倒的に多く、県全体の約60%に達して
います。留学(※約3,300人)のほとんどが仙台市に集中していることなどがその主な理由です。

国別上位ベスト5は、中国(7,549人)、韓国・朝鮮(4,439人)、フィリピン(1,039人)、米国(541人)、インドネシア(274人)です。アジアが全体の
90%近い14,558人と圧倒的多数を占めています。

在留資格別では、永住者(3,739人)、留学(2,262人)、特別永住者(2,220人)、日本人の配偶者等(1,660人)、家族滞在(1,191人)と続き、1位の
永住者の多くが、日本人の配偶者からの切り替えと考えられることから、宮城県でも国際結婚が増えていることが見てとれます。

※上記のデータはすべて「平成22年版在留外国人統計」(財団法人入管協会)による。

※昨年までは「留学」(いわゆる留学生が持つ在留資格)と「就学」(日本語学校と専門学校の学生。約1,000人)に在留資格が分かれていましたが、入管法の改正により現在はすべて「留学」となっています。



ぜひ、ご参加ください!!《名取の国際化を考える県民フォーラム》 Think Globally, Act Locally @ NATORI

- 日時：2011年 2月13日(日)午後1時～4時
- 会場：名取市文化会館 中ホール
- 内容：第一部『多文化共生シンポジウム』(午後1時～2時30分)
～外国人住民が能力を発揮できる社会づくり～
名取で活躍中の海外出身者とそれをサポートする人たちが登壇します。
第二部『国際協力セミナー』(午後2時40分～4時)
～名取・トンガに架かる希望の橋～
名取と南の島国トンガは不思議な縁で結ばれています。海を越えてきた人、超えて行った人たちの声をもとに、未来志向の国際協力について考えます。
- プチ・トンガ講座 ●トンガからのお便り
- パネルディスカッション「名取・トンガに架かる希望の橋」
- 【登壇者】 永田 リセ ツボウ氏 いわき市シニア国際交流アドバイザー。トンガ出身
星 英次氏 (社)青年海外協力協会理事。宮城県青年海外協力協会を支援する会常任理事。
佐藤 佳苗氏 JICA宮城デスク。元青年海外協力隊、トンガにて子どもたちへの音楽教育に携わる。
小野 修司氏(コーディネーター) JICA東北支部長



ライブラリー

ライブラリーのコーナーで紹介されている図書は全て貸し出しまたは当協会図書資料室で閲覧可能です。

『にほんご これだけ!』 監修:庵 功雄 発行:ココ出版

この本は、日本語が初級レベルの外国人に、日本人と楽しくおしゃべりをしながら、基本文型を身につけてもらうためのテキストです。

「わたしのいちにち」「おかねがあつたら」といった、さまざまなトピックについておしゃべりするように作られています。それぞれの活動のなかに、そこで身につける文法項目が隠されていて、おしゃべりすることで自然に最低限の会話能力が身につくようになっています。

活動をすすめるのに必要な文型や単語の説明がまとめられた「したじき」や、具体的な活動例や注意点が動画で紹介されている「サポートサイト」<http://cocopb.com/koredake/> も準備されていて、日本語を教えたことのない人にも使いやすいテキストです。



サポーターの声

齋藤 恵美さん MIA外国人支援通訳サポーター (韓国語)



MIAで医療通訳ボランティア(当時名称)を立ち上げたのがちょうど2002年日韓共同開催ワールドカップの前の年度で、私は開設当初から登録しています。

これまでで一番印象に残っているのは、やはり韓国系船員の医療通訳です。腕を切断しなければならないほどの大怪我を負った患者さんをなだめ、手術を受けるよう説得するのに大変苦心しました。彼はインド洋沖で作業中、機械に手を巻き込まれ重傷を負い、ヘリコプターで仙台空港まで運ばれ、そこから救急車で病院に搬送されたのですが、言葉が全く通じない異国の病院で、どんなに不安だったことでしょう。「腕を切断しなければならない」という医師の言葉を伝えるのが、私自身とても辛かったです。

もちろん語学力は重要ですが、やはり相手の心情を理解し、心を開いてくれるよう努め、お互いに信頼関係を築くことも肝心だと思います。言葉はまさに「こころ」ですね。

「MIA 外国人支援通訳サポーター」とは... 医療機関や保健機関、或いは行政窓口などからの通訳派遣要請に応じて登録サポーターを派遣します。また、スキルの向上を目指し、登録者対象の自主学習会が設けられ、言語ごとに研鑽を積んでいます。

賛助会員募集

MIA(財)宮城県国際交流協会は、県民参加の幅広い国際交流を進め、人と人との輪を広げていくために、皆様の御理解と御協力を求めています。



- 賛助会員の資格
本協会の趣旨に賛同し、運営活動に協力していただける個人や団体(国際活動団体、企業、機関)など
- 賛助会員の区分と年会費
個人会員/1口 3,000円
団体会員/1口 10,000円
- 賛助会員の特典
◎協会機関紙「みやぎの国際情報」(倶楽部MIA)の定期送付(年6回)
◎「MIA多言語から版」(日・英・中・韓・葡)の定期送付(年6回)
- ◎当協会主催のイベントや各種講座の案内及び参加者の減免
- ◎個人会員については協会と提携する旅行会社が指定する国内外の旅行代金の一部割引 (株)ジェイティービー仙台支店 (株)ジェイティービー東北石巻支店 東北海外旅行(株) 宮交観光サービス(株) (株)日本通運 仙台旅行センター
- 入会方法
◎本協会まで御連絡ください。
所定の申し込み用紙と振り込み用紙を送付いたします。



倶楽部 MIA vol.53

編集・発行 財団法人 宮城県国際交流協会
〒981-0914
仙台市青葉区堤通雨宮町4番17号
宮城県仙台合同庁舎7階
TEL 022(275)3796
FAX 022(272)5063

E-mail mia@k2.dion.ne.jp

URL <http://www.h5.dion.ne.jp/~mia>